

神戸新聞社の講話を聴いて

阪神・淡路大震災は私たちが経験してはいないので

当時の様子は(わからなけれど、このように当時を知っている方に

くわしく話を聞かしていただくと本当によかったです。

私の両親はお互い阪神・淡路大震災を経験しているのだ、

これから(着々と、話し合っとい(た(て(てよと、思いました。

神戸新聞社の講話を聴いて

今回のお話を聴いて準備が大事だと思いました。

阪神淡路大震災などの大規模な震災の時

自分のことも自分で守るために周りの人も助けて

するにはやはり準備が必要だと思いました。

準備不足では、自分も他の人も守れない。自分

死にかけたらどう思われるか。準備してあげたいです。

神戸新聞社の講話を聴いて

僕はまだ震災の時はまだ生きていたから、その
時に感じたことがよく分かってきた。しかし、お母さん
の説明を、そのときにも聞かされたので、そのまゝにして
来たから、そのまゝに復興して、今も生きています。
次の大きな震災が起ると、今も同じようにして生きて
います。

神戸新聞社の講話を聴いて

七くた、た方々のお話を聞いて震災は本当に
苦しいものだと感じました。

お話を聞いて 今後の私に役立つように

行動したいと感じました。新聞社が情報を

伝える大事な仕事です。

こんな新聞社にも興味が増えました。

神戸新聞社の講話を聴いて

当時の本菜子がよくわかりました。新聞を毎日出していることはいいと思いました。今回で神戸新聞のまごさかわつたし大変だったことを今後に伝えていきたいです。

神戸新聞社の講話を聴いて

神戸新聞社様の言きを聞いて、志を
すに伝えていくことが大切だとあら
ためてわかりました。なので、色
んな人に伝えたい、志をすにいたりして
次の大震災の被害を少しでも減らした
いのです。ありがとうございました。

神戸新聞社の講話を聴いて

自分は神戸新聞社の講話を聴いて、今もこうやって
当時のことを知るのは、地震にあったときに、災害に向き合っ
て、つらいはずなのに当時の様子や写真をおさめたりしてくれた人た
ちのおかげだと感じました。自分が実際に地震にあったとき
は、たぶん自分のことでいっぱいになるので、そのときのことを写真に
おさめたりした人はすごいなと思いました。改めて地震のこわさを感じ
ました。

神戸新聞社の講話を聴いて

神戸新聞社の講話を聴いて、改めて震災の怖さを
知った。31年前におきに阪神淡路大震災についてよく詳しく
知りました。震災でどんな被害が起るのかわかり、
この震災が起ると自分の命をしっかりと守れるように、普段
から備えておくことが大事。ありがとうございました。

神戸新聞社の講話を聴いて

私は、震災で神戸新聞社が被害を受けていたことを知りま
せんでした。神戸新聞社は大きい被害を受けていたけど、それでも
発行をやめなかったことに驚きました。京都新聞社のおかげで「今まで」
発行を続けてくれたことがすごいと思いました。

神戸新聞社の講話を聴いて

今回の授業を通して、実際に体験された方から話を聞けたことで、より分かりやすく当時のことについて知ることができたし、いつ自分の身に何か起きてもお対応できるように覚えておくことが大切だ"ということについて学びました。この授業で学んだ"ことを忘れず、実際には災害が起きたときには冷静に行動できるようにしていただきます。

神戸新聞社の講話を聴いて

震災が起きたら、あらゆる設備がライフラインが止まり、今何が起
こっているか分からなくなってしまう。大震災も経験した人か
ら、はよく対処法(ラジオ等)を教えてもらっています。神戸業界内では他の
新聞社と協力して、早く情報を共有していたことを知り、
改めて「自衛力・公助・共助」は大切だと思いました。

神戸新聞社の講話を聴いて

阪神淡路大震災当時の様子を深く学ぶことができました。また、当時の神戸新聞社の努力がよく分かりました。いつ起きるかわからない、身近なところでもいざという時のために、地震に備えて家具や存続を大切にしたいことだと思います。常に備えることと助かる命もあると思うので、防災グッズの中身を確認したり、家具の固定をしっかりと、何か起きてもいいようにしていきましょう。

神戸新聞社の講話を聴いて

まずは、このような貴重なお話しをして頂きありがとうございます
ございました。お話しを聞いて地震への向き合い方が
ガラッと変わりました。例えば、避難場所をあらかじめ家族
と再確認にしたりバットの近くにスリッパを置いたりと
学んだ事を生かしてもし、地震が起きたときに家族と自分
を守るための大切な知識ができてこれからは地震に
対する気持ちが変わらないと思えました。

神戸新聞社の講話を聴いて

神戸新聞社の方たちの講話を聴いてまず思った事は
新聞社の人達の大家さんと地震のこわさです。新聞社の人達は
だれよりも早く写真を取るために地震の中でも活動していて
すごいと思いました。地震は本当にいつ来るかわからないと
知れて良かったです。

神戸新聞社の講話を聴いて

三姉この講話を聴いたのが当時ほど大層だった

ということが分かりました。阪神淡路大震災は当時の人に

被害たということが分かりました。今から50年後にはもう

当時の人がいなくなるといわれています。僕たちが生き残る

ために努力する必要があります。

神戸新聞社の講話を聴いて

私は今回の神戸新聞社の方の話を書いて、改めて阪神・淡路大震災を忘れてはいけないと強く思いました。

また、地震はいつ起こるかわからないので、普段からいろんな場所を確認しておいたり、防災バックの中身をチェックしておいたりといつでも自分の命を守るように準備をしておきたいと思いました。私たちよりも下の世代にも阪神・淡路大震災のことについてを伝えて、忘れられないようにしたいです。

神戸新聞社の講話を聴いて

はし神・淡路大震が起きて会社でつぶれても当日の月刊や
地震のことを取り上げて市民のおもむきに近い情報をおおやく届けたのは
スゴイと思いました。これからの災害に備えて家で新聞スリッパを作った
りひざん経路を書いた図を分かりやすくも二冊にまとめて、家で準備
しておきたいと思いました。

「神戸新聞の7日間」では、地震の当日に神戸新聞ではどんなことがあったの
かが忠実に再現されていて、家づくりを思い出したいと思いました。

神戸新聞社の講話を聴いて

普段聞くことのないお話し、とてもためになりました
思います。実際に経験した方のお話し、具体的に
で、^山火事かど本はどひさか想像がしやすかったです。
この講話から学んだこと、二本が今の生活に活
かし、まわりの人にもつたえたいと思います。

神戸新聞社の講話を聴いて

今回、神戸新聞社の講話を聞いて、神戸新聞の
みなさんが被災者に震災の情報をとどけるために
働いていた時に、困った事や新聞作りで工夫した
事などを聞いて、神戸新聞社のみなさんが情報
をとどけるだけでなく、被災された人達が明るくなる
ような情報をのせるなどの読者によろせた新聞作り
にとっても感動しました。

神戸新聞社の講話を聴いて

今回の講話で震災があった当時はどのような状態に居たのかを深く知ることができた。今日の話を聞いたことから自分で改善点を考え生かしていきたいです。

神戸新聞社の講話を聴いて

今回は、神戸新聞社のかたのあ言活と身聴いて、

しんさいというのほ、たくさんの生機や命をなくすという

ことが合わったので、今からでも命をたすけ水

をさうにしていきたいと思いました。

神戸新聞社の講話を聴いて

地震のときでも新聞を他社と協力してぜひに出せよう
思いが伝わってきた。復讐のためにたくさんの方が支えあって
協力していろこと分かった。なので僕たちも普段から団結して
もし南海トラフなどがあったら共助を意識していきたいです

神戸新聞社の講話を聴いて

当時の人々の様子や生活なども知るこ
とができてきました。地震が起きたときには
いろんな人のためにこうにしているように
なりたいた
です。

神戸新聞社の講話を聴いて

神戸新聞社の講話を聴いて、震災当時の様子や、神戸新聞社で経験したこと、見たことをお話していただき、テレビのニュースなどでは知ることのできない現場の様子や新聞社で起きていることは必ず知れることではない話をしていただきとても貴重な体験をすることができました。普通に話をしていただけだけでなく、私たちが楽しめるよう分かりやすく、かつ興味深い形で説明していただきとてもうれしかったです。この度は貴重なお話をいただきありがとうございました。

神戸新聞社の講話を聴いて

神戸新聞社の方の講話を聴いて、災害当
時のときの話や、大震災があつてあつた新聞
を出すことができなかったことなどを知る
ことができました。実際に経験したからなら
ではの貴重なお話を聴けてよかったです。
ドラマの話など、とてもユーモアがあふれていて
明るく気持ちにもさせていただし、おかげでさうよかった。

神戸新聞社の講話を聴いて

三好さんの講話は、とても面白くて、たゞお話が上手い
だけでなく、思いました。パワーポイントで音楽と合わせ
しあわせ運べるようにや、大切なものも一緒に紹介
してくれて、少し泣きそうになりました。講話を聴いて
私は来ると言われている南海トラフ地震が起きた時
適切な対応をして、生き残れるようにしたい。

神戸新聞社の講話を聴いて

僕は神戸新聞社の方の講話を聞いて阪神淡路大震災の被害の大きさや復興の大きさも知ることができました。自分は今まで被害が大きいのは知っていましたが実際に死者の数を見て自分が思っていたよりも多くの被害が出て震災の怖さを実感しました。また、当時の新聞社によって学ぶことができ、震災の時でも締め切りを履行し続けてくれたのが本当に素晴らしいと思いました。忙しい中来て頂きありがとうございました。